

目次

序

目次

1 調査経過	3
2 北円堂院の歴史	4
(1) 創建から再々建まで	4
(2) 中・近世の北円堂	5
(3) 明治期以降の北円堂	7
3 遺構	8
(1) 調査前の地形と基本層序	8
(2) 南門	11
(3) 回廊	11
(4) その他の遺構	15
4 出土遺物	18
(1) 瓦磚類	18
(2) 金属製品	20
(3) 土器	21
5 放射性炭素年代測定	25
6 結語	27
報告書抄録	30

例言

1. 本書は興福寺第1期境内整備事業にともなう平成23年度発掘調査概要報告書である。
2. 調査は興福寺の委託を受けた独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所都城発掘調査部（平城地区）が、平成23年7月1日から10月11日にかけて実施した。
3. 調査は、今井晃樹・森川 実・大林 潤・山本祥隆が担当し、早川和賀子（九州大学大学院）・佐藤綾美（東北大学大学院）が参加した。
4. 調査にあたっては、文化庁、奈良県教育委員会、奈良市教育委員会の協力を得た。
5. 本調査は、都城発掘調査部（平城地区）の平城第483次調査として実施したもので、各遺構には平城京左京における調査基準にしたがい一連の番号を付した。発掘遺構図の座標値は、世界測地系（平面直角座標系第Ⅵ系）による。
6. 本書の作成は、前副所長・井上和人、副所長・深澤芳樹の指導のもと調査員全員であたり、全体の討議を経ておこなった。編集は大林 潤が担当し山本祥隆が補佐した。各項目の執筆は以下のとおりである。
1・3・6：大林 潤、2：山本祥隆、4（1）：今井晃樹、4（2）：芝康次郎、
4（3）・5：森川 実
7. 遺構・遺物の写真は、中村一郎・栗山雅夫・鎌倉 綾が撮影した。